

え ぼ し だけ 烏帽子岳

烏帽子岳(865.1m)は、鈴鹿山系の高山でその秀麗さは美濃富士とも呼ばれ、昔から時之郷(上石津町時地区)の象徴として仰ぎ親しまれてきました。

地元では「熊坂山」と呼び長範伝説が語り継がれてきました。「熊坂長範」は、平安末期の盗賊の首領であるといわれていますが、この長範一族が烏帽子岳にたむろして麓の伊勢街道や江州街道を行き来する旅人を襲い、金銭や持ち物を奪い取り、それを貧しい人たちに分け与えたという「義賊長範」伝説が、この地には根付いて親しまれています。

登 山 道

明治初期、烏帽子岳から生活用水や農業用水を確保するために、尾根づたいに用水路が作られました(細野の住民が、連日、手弁当、手作業で作ったと言い伝えられています)。この跡地を利用し、細野から烏帽子岳山頂までの登山道が、時まちづくり実行委員会や大垣山岳協会の手によって整備されました。

烏帽子岳は、山頂からの見晴らしが良く、上石津の集落のほか、遠くは伊勢湾、北陸の山々等を望むことができます。また頂上付近には奇岩、怪石も見られます。この細野からの登山ルートは途中の見晴らしも良く、コースの傾斜がゆるやかで誰でも安心して登ることができます。四季折々の自然にふれあいながら登山をお楽しみください。

なお、烏帽子岳へは時山地区からのルートもあります。

●ご案内マップ●



え ぼ し だけ 烏帽子岳林間広場・ 登山道案内



大垣市農林課

え ぼ し だけ
烏帽子岳登山道
周辺平面図



第1見晴しポイント



第2見晴しポイント



第3見晴しポイント



第4見晴しポイント



4-2からの眺望



烏帽子岳山頂 ●



1-2からの眺望



烏帽子岳林間広場



登山道入口

